

# 安保デモ「若者は希望」



## 寂聴さん・山田洋次監督対談

僧侶で作家の瀬戸内寂聴さん(93)と映画監督の山田洋次さん(83)が3日、徳島市で対談した。自らの戦争体験を振り返るとともに、参院で審議中の安全保障関

連法案への抗議デモを若者らが続けていることについて、2人は「大きな希望」と評価した。▼32面詳報  
寂聴さんは同市出身。山田さんは最新作「母と暮せ

ば」(12月12日公開予定)で長崎の原爆をテーマにしていることなどから、徳島新聞社が企画した戦後70年シンポジウムで約3300人を前に語り合った。

6月に国会前で法案の廃案を訴えた寂聴さんは「もしもの時には若い人たちが(戦争に)連れて行かれる。(学生団体の)SEALDsを中心に若い人たちが立ち上がったくれたのは素晴らしい」と述べた。

山田さんは日米安保条約改定に反対する60年安保闘争のデモと比較。「あの頃は学生と労働組合の力でこの国の政治を変えることができると思った。今はあの時と時代は違うが、若者たちの活動はとても大きな希望です」と語った。

(岡田匠、写真は豊間根功智)